

東京2020オリンピック聖火リレートーチ

東京2020オリンピック聖火リレーで用いるトーチは、長さ71センチ、重さ1.2キロのアルミ製で日本人に最もなじみ深い花である桜をモチーフとしています。



Photo by Tokyo 2020

Photo by Tokyo 2020

復興への想いと持続可能性への配慮

素材の一部には、東日本大震災の復興仮設住宅のアルミ建築廃材を再利用しています。

人々の生活を見守ってきた仮設住宅が、平和のシンボルとしてオリンピックトーチに姿を変え、一歩ずつ復興に向けて進む被災地の姿を世界に伝えます。



画像提供 : Tokyo 2020

美しく、燃え続ける炎

オリンピックトーチは、聖火のかたちもデザインされています。

花びらから生み出された5つの炎は、トーチの中央でひとつとなり、より大きな輝きで「希望の道」を照らします。

燃焼部には、いくつかの技術的な工夫が重ねられており、時間や季節、気候、地域によって大きく変化する日本の環境の中で、美しく、力強い炎をともし続けます。



画像提供 : Tokyo 2020

伝統と現代技術の融合

継ぎ目のない、ひとつなぎのトーチ。

その伝統的な形を、新幹線の製造にも使われている製造技術（アルミ押出成形）を用いて形作っています。

日本の伝統と高い技術力がひとつになることで生み出された、東京2020オリンピック聖火リレーを象徴するかたちです。